

弓削通信

発行：弓削通信
愛媛県越智郡弓削町
土生318-2 平山和昭
電話：0897-77-3072

ふたたび、ほんとうの豊かさをもたせて新成人にのぞむこと。

七五三なる成人式

小学生の頃、民主主義について熱く語った教師を忘れない。師は人間の神性を語るに、釈迦やキリスト、マホメッドをつれてきて宗教というものは、アイラブ・ユーでラブ・ミー。だからアイラブ・ミーなんだよと教えてくれた。人間の獣性を語るにはジギル博士とハイド氏という小説を読んでくれた。

人は早くにつくられる

むの・たけじは「生きる目当てを自覚するのに早すぎる」という年齢はない。こどもがそれを自覚するよう手助けをしない親は、こどもの手足をもぎとっているようなもの。多くの親は、わが子を愛育しているつもりで愛玩している」と詰め寄った。

成人式が役所の肝煎で実施されるところも多い。大抵のばあい若者たちへ期待と自覚を促す言葉が贈られ、選挙権も生ずるところから代議士などからの祝辞もある。若者からは感謝と決意が返され、まずはおめでとう。

めでたいものに年賀状がある。気分も一新できるとかまだまだ盛んだ。

政治家とは仕方のないもので、あらゆる機会をPRの場と心得る。が、この年賀状は金がかかるとの理由で法により禁止された。つまり公職に在るものは自分の選挙区へは年賀状は出せないきまりなのだ。今般、運輸大臣になった衆議院議員から新成人に年賀状が届いた。弓削町長からも連名ながら有権者に年賀状が届いた。

決意新たな若者たちへ

批判精神の弱い若者であるな。いつの時代でも、怒れる若者たちが世を突き崩し前へ進める原動力だった。

言葉には人それぞれの全体重をかける態度が大切だ。そのように努力してこそ、「ことば」は人と人がわかりあうための道具となる。

それを忘れた権力者を放置することは、すなわち自らを辱めることと知るべきだ。

若くして物分りよく従順であるな。それは協調性とは無縁のもの、むしろ脱皮をしくじったセミのように、いわば手ぶらで生きているに等しい。

ひとは君たちを二十一世紀の担い手ともち上げる。事実好もうが好むまいが、そうなる。そのうえに言えば、きたる世を担ぐのも確かなら、やがて世話になるのも確かなのだ。

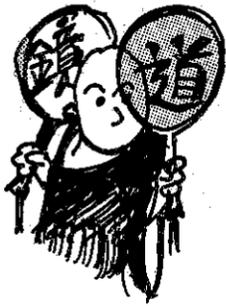
手ぶらで生きていて、いざ門をくぐるとき、そのあまり重きに泣きだして三歩あゆめづと間に合わぬ。

募集 弓削通信では議員の奮起をうながす標語を募集します。
賞金 弓削通信では詩・見聞記・時事漫画・ご意見を募ります。

道鏡を偲ぶ会が天声人声に紹介されました。(92・11・2)
会の人たちは道鏡さんが好き。手弁当で全国を駆け巡るからにはキットそうです。作家あり大学教授あり僧侶あり。資金の応援が一番。連絡先・弓削郷土史会(役場)又は自性寺。

島外見聞録

【道鏡のこと 2】



正倉院に残されている道鏡自身の手紙の書体も実に素晴らしいものです。字の意味だけでなく書体にも本人の意志がにじみでるのではないのでしょうか。道鏡伝承の地は全国にあるのですが、戦前の「悪人」扱

いの影響か、それを隠そうとするところもあり残念です。茨城県麻生町。ここでは道鏡は偉い坊さんであるときれいです。同じく美里町。この地の人

が下野(栃木県)に左遷されてきたとき、あたたかくもてなしたそうです。宇都宮市岡坪。土地の人々が雨が降らなくて困っていたので雨乞いをして雨をふらし助けたそうです。栃木県真岡市。道鏡が真岡への山道を切り開いた坂が、「道鏡坂」として残っています。山梨県早川町奈良田。焼畑しかできないような山地に、カラスが沢山きて作物を荒らすので困っていたところ道鏡がカラスたちを諭して退去させたので、その後畑はいたずらされなくなったというのです。正史では道鏡は栃木県までしか行っていません。なのに弓削島をすぎて熊本市(当地は否定していますが)まで行っているのです。

後世、誰かが何かに結び付けたとしても、探ってみる価値はあると思いませんか。また道鏡は、栃木県で亡くなったとされていますが、暗殺されたという説もあり、あるいはどこかへひそかに逃げた可能性もあります。遠く、筑紫観世音寺(福岡県)あたり、あるいは弓削島(島根県)あたりに認められたのが女帝だったため、二人の間を憶測する話と尾ヒレがついているのも事実です。昨年地動説を唱え教会から破門されていたガリレオ・ガリレイが三百五十九年ぶりに名誉回復されました。道鏡に限りませんが、正史や憶測にとらわれず調べなおす勇気もたいせつではないかとおもいます。(おわり) 本田 義幾

昨12月23日・山頂のクリスマス会から。一番乗りの子らによる100発クラッカー→おなじ日に開かれた『弓削町の自然を考える会』によるクリスマスサービス。↓



本ほん 読んでみました。よんでみませんか。にぎやかな大地(山下 惣一 講談社) 九州唐津半島の小村を舞台に繰り広げられるゴもろいですね。ルフ場誘致騒ぎのデシヤワンヤ。親友三人、村の農業の将来を巡り心ならずも激しく対立する。金と女とヤクザと議員。揺れる男ごころにおんなの心。あー小説ってホントおもしろいですね。

双眼鏡



▼書く行為はボケ防止にいいと、聞いたか読んだか▼ボケという言葉はちかごろつらいコトバとなった。以前はもっと柔らかな暖かみのある、笑ってすませられるコトバだったような気がする▼いいようがなかったにしてもコトバに無神経であれば一つの文化の形相が変わる例だと言おう。頭いいお医者なら医学的意味を読みこんだ新語くらい創りんさい。ボケて寝たきりなんて、もう言葉のうえでは人扱いじゃなくさる▼やんぬるかな。やがてそうよばれるにちがいない身にそれを馴染ますには、進んで使いつけるしかないのか▼何だか少量失禁ショーツなんて商品名が好きになった。(平山)

1993年も多事多難の子感。
義士9名 懲罰委員会を恐れず放談。

寒さに強いゆげみどり



あけましておめでどうございませう。おめでどうございませう。第二回新春言いたい放談というところで、反省やら面白かったことなどツマミにひとつやりましょう。

色々賑やかな年でしたが、高等学校はその後？
一件落着のようですよ。
やめていった生徒は多いのですか？
転校などをふくめて十人ほどだそうす。

例の事件に関しては？
四名。
弓削の生徒はいないと聞いたけど。
そう。町長さんのおっしゃるとおり、弓削の子でなくてホントよかったです。(笑い)
流れくるのは弓削ではない。岡山のコミでして...
そうそう。

普通の傷害事件ならこうはいかなかったかもしれない。処分から見れば「訳あり」の判断かもしれないですね。
一種の政治決着？
そう。どういった処理が妥当だったのかは分からないけど、本質的なことは変わっていないのじゃないかしら？
変わりました。悪い種は除きました...というのじゃないかな？
そうかなあ。
そうですね。

ある子がね、大学の推薦入学で面接に行ったと思ってください。
おもしろい。(笑い)
その子は暴力事件について聞かれるとおもった。
フンフン。
ところがこれっぽちも質問がない。(笑い) 拍子抜けしたわけよ。
よくないことだとおもいます。って言おうと思ってたんでしょ？
ピンポン。それでね、その子のいうには、世間じゃ大した問題じゃなかったらしい...
ブーッ！とんでもない。
でもわかるよね。きっと一所懸命くふうして親とも相談したでしょうに...出番がなかったってね。(笑い)
その生徒は自分でも大問題だと思ったわけでしょう。世間だっておんなじですよ。
あの「フオーカス」にのるくらいなもの。
大問題だと思った意識を大事にして欲しいね。自信を持って。
そうそう。わざわざ解りきった質問なんかしませんよ。
さてさて、給食の方は？
あのまんま。
エー小学校のPTA役員が学校へお歳暮を持っていったとご想像ください。

想像できません。(笑い)
困るでしょうに校長先生が結局お金に換えて寄附扱いとしたそうす。
「.....」
こうなると善意を通りこして、全てそういう目で人を見ていられるのか、お金のある人にはかなわないですね。
無念。浅野内匠頭にそのくらい才覚があればうちの子ども苦労をせずに済んだ。
????????
岡野金工門の子孫なんですよ。この人。
ホントですか？
ホント、ホント。百才で死んだけど、婆さんがよく言っていた。墓参りもした。
ほんとはどうしたら奇しき縁ですね。
ホントですってば(笑い)
(疑わしく)でも岡野金工門って独身だったじゃないの？
化けたのが小間物屋なんですよ。ちよいとオオ嬢、この口紅いらなくない？なんて。
吉良邸の絵図面をそのオナゴの手引で手に入れた。ホントかウソか知らんけど。
忠臣蔵なんていまの子は知らんね。子孫であるうちの子だってしらんもの。なんじゃいそれ？(笑い)
昔は正月というとき忠臣蔵。お年がしれますよ。(笑い)

ハイこれが近着広報一月号8市町村。これが弓削のぶん町長さん意欲的ですね。ヤル気です。
いいこと言ってるだけだね。ここ見て。よそは議長の言葉がかならずある。
弓削には議会が無いよ。
町長の野党でしょうに。一言ある筈なんだ。(笑い)
与党だって構わん。(笑い)
理事者と議会は両輪なんて言うけどね物言わぬ議員ばかりじゃ片輪じゃないですか。
あーっ言った！言った！差別用語。
困るんだよな。このテの差別用語。
またまたあ。手が不自由な人が聞いたら気を悪くするわよ。
ほんなら、そっちだってある。聞くなんて耳の不自由な人にはタブー。見るなんて目の不自由な人にはイケン。アタマも足もイケン。(笑)

どうも近頃、言葉が無原則にいじりすぎる。ウソの優しさだ。これは。まあこのことは一ぺん書くけど、だれか書いてくれない？
(みんな知ららんブリ)

新女性議員が質問するとね「先輩議員を差置いて質問する」って怒られるんだって。なんで？(突然皆元氣)
先輩が煮えたか焼けたか分からんから新人がでてくるんでしょうがにー。
素人には分からん。ムズかしいワザがあるんじゃない？
何にも言わなきゃムズかしいわいよ。(ガヤガヤ)
おしすかに。で、忘年会のとき懲罰委員会にかけるといわれたんだそうよ。
かけてもらえばー。また全版よー。
かけてーって言ったんだっさすがー。

だれ？脅したひと。
「.....さん」
へエーッ
まあ、こういうのも情報の一つだけ、彼女にはもっと議会のこと具体的に町民に知らせて欲しいね。公約だし。
(拍手)
ある若手の古参議員なんか何にもいわずじーっと待ってればやがてくるくる議長椅子がーって、これが議員の将来性というもんだって。わかるねーその気持。
もの言えは責任が生じる。しんどい。黙ってすわればピタリと当っているわけだ。
思えば高い経費を払っているんですね。
使ったんだから鶏もどさなっちゃ。
.....なんだか寒いですねこの部屋。
寒いでしょう。一杯頂きますよ。
南無千九百九十三年。

まちの未来は議員の肩に!
活発な議論が明るいあすをうむ

- 瀬戸田** お待ちしています。意見提言。瀬戸田町役場は
- 生名** 立石港に巨大クリスマスツリーが生活文化若者熱のメンバーによって立てられた。保育所園児たちの手作りの飾りも付けられた。
- 大三島** 平成四年第六回町議会臨時会で「政治倫理の確立を求める意見書」が可決された。選挙制度の改正、政治資金の規制強化が骨子。
- 今治** 河野美術館で日本の文豪展が開催される(火曜)
- 岩城** 村議会議長は広報年頭の挨拶で「懸案のリゾート開発は、国・県に対する許認可事務も大詰めとなり仕上の段階に至っている」と報告した。



こどもの頃のこと、池にいくと、気配を感じて甲干しの亀がドボリ、ドボリ水にはまりはじめ。多いときには親亀の背中に子亀を乗せていくのも見たものだ。
鮎つり、春やすみ、つくしハアタナ、松ウメと続き、いつの間にか表スリ(脱殻)のエンジン音。そしてホタル。短いけれど農繁期といって学校も休みがあった。
先生に「お茶碗一個でも洗えば手伝」と言い聞かされ、一目散で家に帰ったものだ。
とにかく釣りくらいか思い出がない。みんなも同様でそれが自然であったと思う。
浜では稚魚も季節で入れ替わりいろいろな魚がいた。
それが自然なことだった。
魚達はいきなり深い海より現れるのではない。
八十八センチの真鯛にしる大型の黒鯛にしる、浅場のモバ、ガラモなどに生れ育ち、食物連鎖の犠牲になる時代をすくす。浅場に産卵といえはわざわざ遠洋から帰ってくる海亀や、谷川まで遡って卵を産む鮭など、魚たちにはそれが自然なのである。
だから、深い海へ魚礁を入れてみたり浅場の藻場を台無しにすることは自然なコトではないといえるのだ。
季節のワンポイント。エビ類の餌に勝算あり。(橋本)

尾道 東尾道の交通部敷地内に「リサイクルショップ尾道」がある。毎月第四日曜はフリーマーケットも開かれる。出店一店千円。デ・45-5476

因島 社会参加と生きがいづくりをめざす因島市高齢者能力活用協会には意欲的に社会に役立ちたい人が集り活躍している。現在四八名。女性八名。

伯方 第二回民謡フェスティバル四国大会で木浦在住の白石菊政さん(八〇才)が優勝。民謡四国一としてNHK賞を受けた。一八番は首戸の瀬戸。

弓削通信

発行：弓削通信
愛媛県越智郡弓削町
土生318-2 平山和昭
電話：0897-77-3072

ゆとりと、やさしさを

子供は環境より弱く、しかも それじたいが未来である。

一月二七日、各紙社会面を賑した、弓削中学校における生徒の財布紛失に係る全校一斉持ち物検査の報道は、こどもの人権に改めて衆目を集めることになった。

さる一月二十六日、一人の記者が学校給食についての取材に弓削中学校を訪れた。

その席で最近あったこととして同月二十三日、生徒の財布がなくなったため生徒同志あるいは生徒たち立ちあいのもと、全校一斉に生徒の所持品検査が行われたこと、またそのことについて二人の母親から抗議をうけたことなどを実名をあげつつ校長が話題に乗せた。

なにげなく語られたその出来事は『事件』として報道された。頭末は以上である。が、いざ報道されてみるとまこと弓削ならではの珍現象がおきた。

「ヨソ者が事を荒立て弓削の恥が広まってしまった」とする地元の人々の反感。(このことについては以下に書く)

「ゴルフ場反対グループがマスコミに流した」というデマも飛んだ。(事実でないことは先に書いた)

あらためて考えてみると気になることが三つほどある。

戦後の民主教育を受けた教師ですら、いまだ差別の素を自己生産していること。

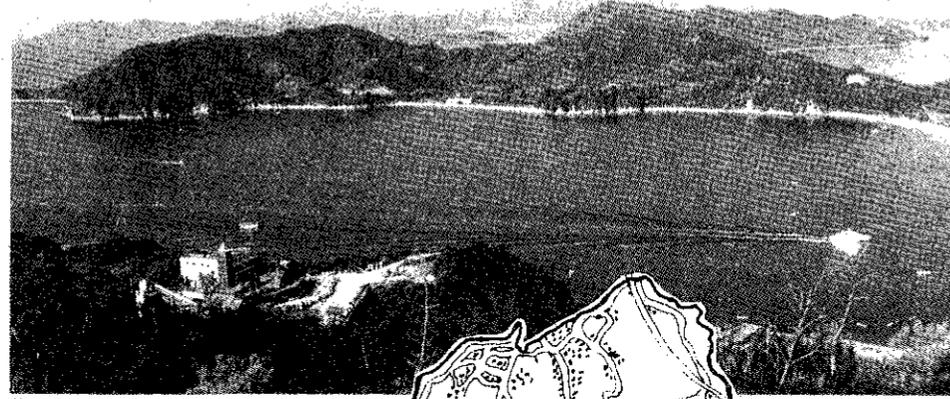
弓削中学生で自己の確立をはたしている者は意外に少ないらしいということ。

教師にこらえ性がなくなっていること。

事件そのものは新聞等に詳しい。(二十七日付各紙)

開発計画軌道修正！

リゾート開発の核であるホテル、ゴルフ場開発計画は、当初の計画を変更し佐島に集約することが二月六、七両日の町民に対する説明会で明らかにされた。



リゾート開発計画の新展開により注目される佐島。(該当区域)



二月六日、下弓削中央公民館で開かれた計画変更説明会にて町長は「私の在任中は弓削島のゴルフ場開発計画はない」と述べた。変更の主な理由は、林地開発許可基準の改正により新基準に弓削島の計画が合致しなくなった。社会・経済情勢の変化により事業費の効率化を計る必要がある等、とされている。翌七日には佐島でも説明会が開かれ、掘田政策室長は、今度の計画に係る開発同意書は改めて取る、と述べた。

振出にもどったわけだが、計画が明らかにって四年で、初めて一般町民は事業主や開発業者を正式に紹介され直接質問をする機会を持った。利害関係者を狭く限定し、話が出来上がってから持ちだす、従来の行政のやり方は、今後論議の的にならう。

下弓削での質問には開発に伴うリスクに比しメリットは思う程ないのではないかと危ぐや、一方、早期着工を望む声もあがった。

佐島での質問では島の半分以上が開発されることへの不安感や、今迄の例からみて、行政の業者にたいする指導力の弱さに不安をもっていることがわかった。

将来に禍根を残さぬためにも本音で話し合う場が数多く持たれることが望まれる。

会場では上村議員と益田議員が開発には、議会をあげて協力することを表明した。



財布がなくなった？そりゃ盗みだ。時間がない。お互いに調べさせる。そのほうが早い。よしきた。・・・やることの荒っぽさはさておいても「もし・・・なら」と、並みの想像力があれば、理不尽さに平気でいられるのが不思議だが、生徒も教師もおとなしく従ったようだ。

あるいは学校での常識はそんなものなのか？全般的に親の反応が鈍かったのは、生徒の多くはそのことを家で語らなかつた可能性もある。この年頃になれば、

いよいよ学校での出来事を家庭に持ちこむケースのほうがむしろ少ないだろうからだ。

愛媛の管理教育の実態は簡単に言えば職員移動のローテーションを早め(大体三年)参加交替のように職員のある気と自主性をそぐことにあるかに見える。

子供を知り地域になじみ、実状に合う方法を試みようにも、それが端緒にいつたころには移動というのでは意欲を持ってとうとうほうぐもりかもしれぬ。もっと性悪くみれば理念とは裏腹にこどもの自立精神の発達を妨げるのが目的のようにさえ見える。

広島県で教師を勤める友人は「こちらではすくなくとも五年。それでも実践の結果を

見るには至らない」と語る。人間の素晴らしいところは「自」と「他」を意識しながら互いに教えあって成長することだろう。

宗教やおきてなどがあるのも、常に自他をセットで考えることを分きまさせさせる教育の一形態といえる。

学校には先生と生徒がいて教える立場の先生は、いきおい生徒からも敬われる。しかし言うまでもないことだが、そのことは生徒をみくびつてもいいということではない。「人権問題だ」との報道に「なにを大袈裟な」と反応した教師がいたとすれば、みくびりの意識はおろか、人をみくびることが、人が大袈裟なのではない。人権意識にそれだけの開きがあることに鈍感なこと

記事にした記者が大袈裟なのではない。人権意識にそれだけの開きがあることに鈍感なこと

が大驚きなのだ。また人権について鈍感であるのは優しくないことをも意味する。ぜひ、やさしさについても考えてほしい。

今回、学校での出来事を知り、子供の悲しさ無念さに思いを至した親が、たった二人だったとは思えない。

島に住む地元の人々はみんな地面から「わいた」と信じている者がいるとは思えない。だからあえて言おう。

なにが恥ずべき言動か。

中学生に考えてほしいこと

今度の中学校の出来事で一番の問題は『持ち物調べ』が集団で一斉に行われたせい、か理不尽とも人権無視とも深く考えない、思わない人がいることです。

かりに、一人ひとりを個別に調べたり、特定の生徒だけを調べたりしたらどうでしょう。集団であれ個別であれ「疑って調べる」行為そのものにはかわりはないとおもいます。何かの間違いや、ちょっとしたイタズラで関係のない生徒の荷物から『その物』がでてきたら、その生徒は満座の中でどうやって身の潔白を晴らすのでしょうか。

生徒たちの心は傷つき、学校や友人に対する不信、登校拒否、最悪の場合は自殺だって考えられます。

残念なのは、今回、先生方の中から、持ち物調べに『反対意見』が出なかったことです。

生徒を信じてください。どんな生徒でも私達の大事な命ですから。性急に結果を求めず、反省したり考えたり、お互いにおもいやったりする時間を与えてやって欲しいとおもいます。

今度の事は、これから社会に出ていく子供たちこそ、しっかり考えてください。自分の信念やプライドを守るためには、たとえ一人になっても頑張れる人になって欲しいのです。また自分と意見を異にする人のことを、認められる人になって欲しいのです。それが結局、自分と人の権利と自由を守ることになると思うからです。

『だれが言った』かよりも、『何を言い、なにを問うているか』を考えられる人になってください。(町内・原田)

見えない暴力

今日嫌なことがあってねえ・荷物検査があったんよ。わたしたちのクラスだけじゃなく全校。ショックだった。すると高校の兄は「ぼくらの小中学校のときはいろんな事で荷物検査があったから驚く事じゃない」といった。いつものように家族で夕飯を囲んでいるときでできた話に、私は複雑な思いがした。はつきり記憶はしていないが、子供の頃やはりモノがなくなったりとき、先生は、直接返すにいくと思うので机の上とか、入れ物を用意しておくのでその中に返すように。また不必要なモノは持ってこぬようにと諭された。

時代によって随分やり方が違うものだなあと。ところが話が次のように展開すると、つい先日TVで見た『中学生日記』をおもいだし小さなお

のきを覚えた。面白半分の噂が無実の子を盗みの犯人に仕立ててしまう話だった。「クラスの子がね、犯人は誰じゃ。ゆるせん。もしかしてアレじゃないかといいたすんよ」私はおもわず「こわー。もしあんたが犯人扱いされたらどうおもう?聞き流しなさい。それ以上噂を流さないこと」と念をおした。

みえない暴力とかいうのどううか。自分も親の立場で子どもを傷つけることがよくある。反省したい。

家庭内で投げつけた言葉はそれでも拾い集めやすい。先生の立場で投げたそれはむづかしい。この事件だけでなく、いろんなことに対して生徒の心の中のすすり泣く声が聞えないのでしょうか。罪を憎んで人を憎まずという心もほしい。(主婦A)

事件があったって学ぶ

先日の弓削中学校の「財布紛失」の為の持ち物検査については、子供を持つ親として大変ショックを受けた。

誰かが手を出したとするとその行為は許されぬことである。悲しい事が見過すことはできない。しかし財布が紛失するとすぐ子供の持ち物検査をするとは!何とも表現しがたいやりきれない気持ちがかみあげてくる。

時間がなかったとかの問題ではない。

一休学校とは義務教育とは何なのだろう。

紛失したと報告した子供の気持ちをおもいやつてのこととは思えない。彼女は生徒全員を持ち物検査を望んだであろうか?多分いたたまれなかったに違いない。

では検査された子供の気持はどうだろうか。潔白であれば本当に何も感じないのだろうか。「先生の持ち物は検査するの」と思った子もいたかもしれない。

一般社会でのごとくなら名誉キ損で訴えられても文句は言えないところだ。では学校でなら許されるのか。子供が相

手なら。教育的指導としてなら。へ家の子に限って」との自負はあっても、もし自分の子供の中にあったらと考えると恐ろしくて言葉もでない。

あたりまえだが子供にも人格はある。大人から見れば未熟な所が沢山ある。それを導くのが親であり教師であり周りの大人なのだと思う。

自業自得という言葉もあるが、這い上がれない様な解決方法はしてはいけない事だと思う。

新聞を見た時は本当に恥ずかしい事だ、弓削の恥だとも思った。しかし本心に恥ずべきことは新聞に載ったという事ではないと思うようになった。ただちに学校へ行った二人の勇気ある親は、自分にはないリンとした精神を持っていると感じた。見習おうと思う。

子供を育て導くことは本当に難しい。自分も足りない所が沢山ある。そう思うと自分の感じたことをきちんと伝える、毅然とした人間にならねばと報道を通して反省した。(町内・反省する親より)

因島おや二劇場
カ14回例会
2/19(金)
因島市民会館
6:15ヨリ

西遊記

新入会
お誘いあり
*連絡先
77-2569 前田



生名 村議会は議員提案の意見書四件を十二月定例議会で採択。政治倫理確立、児童の権利条約の批准、海の日制定、道路確定財源。

岩城 リゾート開発の現状はゴルフ場の残地森林確保の為、県とともに一部計画の見直し及び開発構想の説明等を行っている。

瀬戸田 十二月議会で学校五日制の実施結果についての報告を求める質問に教育長は、新しい学力観の確立が必要との見解を示した。

因島 因島市は人材育成塾『因島交流倶楽部』第2期生を募集している。対象は市内在住か勤務地がある人二十才から六十才まで。

尾道 市立清風園(養護老人ホーム)では夜間管理人(六十才までの女性、または夫婦でも可)臨時調理員を募集中。電・22-3948

よせる波
かえる波

トイレ専用スリッパ



世に在る、あたり前の中に不思議は山程在る。トイレ専用スリッパ、などというものもその一つ。人々は、普通その部屋の前で今まではいていたスリッパを脱ぎ、専用のものには驚かえる。他の部屋では、家中そんな事はしないのに、この空間に限り、別なのだ。何故だろう。

栗林輝夫著「判冠の神学」の中に、浄、不浄についての考察が在る。人は本能的に、自他を分離し、類型化し精神の安定を得ようとする。分類不可能なもの出現は、混乱をきたす故に、異常のカテゴリーを作つて、忌みとする。つまり、物理的に隔離する、と在る。

そうか。あの空間は、分類不可能なもの、だったのだ。生と死、日常と非日常にまたがるがために、不浄として歴史の中で差別されてきた空間よ。今、自身の精神を縛っている縄を解くために、トイレ専用スリッパを捨てよう。私という肉体を通過して、昨日が水に流れてゆくその部屋のことを、私は『過ぎた楽しい日々』と呼ぼう。(きぎ)

双眼鏡



▼創刊号より二十回にわたった『あたり』の橋本さん。全治六ヶ月の大怪我にもめげず一回も休載なし。そのバイタリティに脱帽!しばらくリハビリに専念しつつ不定期のコラムをもってまいります。▼二十一号からは趣向をかえ島外からの『よせる波』です。▼童話作家の眼にはモノゴトはどう映るのか。寄せては返す波の変化をおたのしみに。▼弓削町のリゾート開発も新しいスタートラインにつきましました。こんどこそ充分な論議を期待します▼学ぶことは変ること「林 竹二」です。(平山)

弓削通信

発行：弓削通信
愛媛県越智郡弓削町
土生318-2 平山和昭
電話：0897-77-3072

さる二月二十八日、『因島こだわりウォーク』が実行された。主催は「因島の魅力を探り楽しむ会」という市民サークル。発会の主旨は、ふるさとがどんなに素晴らしいところか皆で歩いて見付け、見直そうではないか。(主催者挨拶)

因島でも過疎化や高齢化の波はひたよせているが、島の現状、欲しいもの、失ったもの、こもこも見聞きし、市民の知恵も出し合おうとの試みともうけとれる。

悲観的天気予報が外れ、薄日がさしはじめるなかで午前十時半、主催者や市議会議長の声援を背に四四〇名のハイキングが開始された。

当日は他の行事の影響を受けてか、市内からの参加者は約百名。あとは福山、府中、広島、呉、三次、豊田郡、安芸郡、備北、沼隈、尾道、三原、向島と多方面にわたっている。

コースは因島市西浦から田能までの山道、約十キロ。青影山の中腹、極彩色の摩崖仏の望める六松公園、ハッサク発祥の地、あえて昔ながらの「槽(ふね)搾り」にこだわって地酒作りをしている備南酒造(銘柄白冠)の新酒まつり・・・かつての「こだわり

わりの跡」と、いまの「こだわりのさま」を見聞きし、しばらくたての酒や、ハッサクを賞味して解散。
参加者に聞くと、多くは新聞広告をみて応募したというが、当節なぜこんなアウト・ドアのイベントに、たくさん人が集るのだろうか？
人は島になにを求めているのだろうか？

こだわりウォークとふるさと



麗しのなぎさ ふるさととの値段

いま弓削町では、町に人を集め、地域の活性化を図り、緑の復活・再生を願うリゾー卜法による民間業者の資金をあてにした『ゴルフ場開発』を計画している。
ところが妙なことに、もしわれらが島に、醜怪なものがない、美しい『なぎさ』が多く残されていたなら、それだけで人が呼べる世の中になっってしまったら、宝の玉はずでに手中にあったことになる。
ゴルフ場予定地には農業に余生をかけている人もいればあとを継ぐものがいず自棄的心情に陥っている人もいる。そういうことを踏まえたうえでゴルフ場について考えてみたいことがある。



↑主催者の説明に聞き入りこだわりの面々。

↑まさかと思った急な山道をつまかさか。細い行列の後をついてきた移動式トイレ。

大きく瀬戸内海という公園にあって、山や海は、個人のモノであつても、同時に、そこに住むひとみんな、外にすむみんなにいろいろなかたちで恩恵をもたらしてきた。
土地が私有化される以前からのものであろう。住民がこぞつてのぞむならともかく、地権者だけに、その島の将来を決める責を負わすわけにはいかぬ、とはいえないだろうか。
海に見える大岩に仏を刻み航海の安全を祈念した先祖たちのように、いずれ人は死に微細な土となって、なぎさによせる。そうした沢山の「生命の果て」が地域の海や山として在るのだとおもいたい。
瘦せた岩山でも売れば金にはなる。しかし、ふるさととして在る岩山にはそれが値段をつけるのだろうか。
自分らのすむ島の六割もゴルフ場にとられることに、こころ痛まぬ風潮が続くなら、いずれ『なぎさ』は完全に消滅し、やがて人らしい心の再生さえおぼつかなくなるのではなからうか？



山河茫茫々

西川 修

(1)

いつもは母である。しかし、受話器が「オーイ、わしじゃー」と叫ぶと父なのである。田舎は蜜柑の産地で、それに関係することか親類縁者の消息が話題となる。そうでなければ足腰の痛みや村の訃報などである。

島は全国的にも屈指の柑橘栽培地として知られているが、その余命いくばくもない。近年、放置された畑が目立ってきたのだ。私の実家も含めてこれから十年維持するのは容易ではないだろう。山田洋次監督の映画「息子」

ではないが、東北から出てきたトラックの運転手が「山河滅びて国家は残る」と若者につぶやく場面がある。帰るべき故郷は衰退の途を辿っている。そうかと言って糊口をしのぐ術はない。これが現実味を帯びてきた。バブルの崩壊によってリゾート地への変身も夢破れた。そんな地域が多いことだろう。為政者どもは民の暮らしを顧みず、己の尻拭いに奔走している。お上の甘味なご託宣に翻弄されて泣くのはもう御免だ。自分たちの将来は自分の頭で考えたい。
黄昏時、団地を犬と散歩していると空き地から遠くに霞んで故郷の島が見える。一瞬、熱い血が胸を刺す。人には終焉の地というものがあ。果たして自分は何処になるだろうか。(尾道在住)

弓削道鏡
読んでみました。
よこみかきかき

●黒岩 重吾・文芸春秋

●真実不慮(道鏡禅師)
(山野としえ・自費出版)

いづれの作品も道鏡を愛の人として描いている。なるほど藤原氏が道鏡の全記録を抹殺し得たのは権謀術数にもっとも遠い存在だったからか？
黒岩・道鏡はドラマチックで飽きさせない。山野・道鏡は不思議な語り口をもつ。
現代の小説技法に慣れた読者にはちょっと取っ付きにくいのかも。だが、そのかみの王朝女流文学者は、このような語りでその読者を魅了した。
山野氏は「道鏡を知る会」の会長でもあり、この弓削町にも来島されたことがある。

「さしま」の思い出

今度、初めて「佐島」に上陸した。芸子のほとんどの島は知っているが、佐島にだけはこれまで一度も行ったことがなかった。「さしま」という響きは、もう何十年も昔のあの日に僕を連れていく。その頃、僕は向島の造船所の社宅が立ち並ぶ一画に住んでいた。終戦直後のことで文字どおり子供はウジャウジャいた。

ある日のこと、遊び仲間の一人のYの姿が昼頃から見えなくなったのである。Yの家の者は近所中を探し歩かし、近所の者も総出であちこち探し回るがどうしても行方が分からない。

そのうち暗くはなるし、子供心にもだんだんと切羽詰まった気持ちになってくる。なんせその頃は、どこか遠くからやってきて、子供をさらって「サーカス」に売る「子とり」がいることを真剣に信じていた時代なのだから。

不安な気持ちで夕御飯を食べているとYの母親がやってきた。「デンボウ」が来たという。「さしま」の親類から。なんでもYは一人で愛媛丸にのってその佐島の親類の家っていたのであった。

「さしま」と聞かされた時、僕の記憶は昨日の日のようにその遠い昔に飛んで行く。その時のYの母親のニコニコした顔、明るい声、そして何かよくわからない恐ろしい「デンボウ」、僕のまだ知らない「さしま」そして次の日、おばさんと一緒に佐島から帰ってきたYはひどく大人にみえた。

僕が一人で生口のおばあさんの所へ行ってもよいことになったのは、六年生になってからのことである。尾道で愛媛丸に乗っていると拡声器から歌うように案内が聞えてきた。「重井東、重井西、西浦、田熊、宇和部、土生、生名、弓削、佐島、岩城、木浦、友の浦、今治方面おこしの方は、正面棧橋東側の愛媛丸にご乗船下さい」

僕は土生で乗り換えである。そこから先は僕にとっては遠い遠い未知の世界であった。

大学のある夏、僕はテントを担いで、土生から先の港を歩いたことがある。その時も何故か「佐島」には行かなかった。

今度、始めて「佐島」に上陸して脳裏に浮んだのは、一人で愛媛丸に乗って「さしま」に着いたYの姿であった。それも今は遠い遠い昔のことである。

(広島・船木高司)

1/4世紀弱を クラス担任の教師として生きて

8年間いた細倉小学校が閉校したため高清水小学校に来ました。これが私にとって5校目です。

初任校は、大衡第二小学校です。亜炭鉱山が学区にあり家内工業的に採掘していました。全盛時は学区の児童数が四百人もあり、私が赴任した頃は百二十人程でした。

百人を割りそうだという時統合の話がでて「古くても俺たちには新しい学校だ」と子どもも言ったのですが、廃校となりました。

2校目は富谷小学校です。木造校舎を近代的にするというので、町内にある2校が1校にされました。その頃富ヶ丘ニュータウンができ、4年後には富谷小学校内に1年間だけ富ヶ丘小学校が同居することになり、一つの職員室内の右と左に両校職員が机をならべました。

3校目は宮城県にこんな学校があったのかやと思ってしまう程とつもなく児童数の多い古川第一小学校でした。二千人を越したので、分離ということになり、第三小学校に行く子を見送りました。

4校目が細倉です。できて間もない校舎に百二十人もいたのに、とても少なく感じました。

4年後閉校のため小人数となり、閉校までの4年間は五十人を下回り郡内でも児童数が少ないことで有名になりました。最も少なかった時は二十八名でした。

現在校で少し振りりに三十人を越える子どもを担任し、子どもってこういうふうだったかなと思っています。

私の学校は いつも 時代の波の中

振り返れば、勤務した学校ではいつも統合か分離かの話題があり、その都度子どもにとつてどれがいいのか考えてきたつもりです。

当時統合は、法的に奨励され、補助金をあてに新校舎が建てられたものでした。

その後、町村の財力を誇示するような校舎建築が進めら

れ、学習より外見が重んじられるようになってくる気がします。特に細倉小の統合は、人数が多いところで、まことたほう力がつくと、まことしやかに言われ、それが統合の大きな理由になりました。

しかし教師の多くは小人数こそ力がつくと体験的に考えていました。

人数が多くなると、層は厚くなりますが、個々に確実に力をつけることを困難にしていけます。現在校で日は浅いのですが、力の開きに驚いています。

小人数の学校から人数の多い学校に指向することは、個性尊重を唱えながら個別指導を不可能にしていくものではないかと考えています。

一昨年魚島に行ったとき、小人数でも学校はあるべきと知りました。それに比べると三十人もいた学校を閉校するなんて、との思いを今更のようにはしました。

いづれ、どの地域も小人数化するのですから、そんなときに考える資料の一つにしていただけたらと思います。

(宮城・本田 義幾)



骨髄移植を希望している林原信秀君は、この3月1日、広島県立因島高校を卒業し大学受験に臨んでいます。



林原信秀君

3/17(水) 午後7時30分よりNHKスペシャルで、骨髄移植に関するテレビ放送があり、彼も登場します。

★因島おやこ劇場・第3回 高学年のための例会
六千人の命のヒナ
 3/17(水) 午後7時開演 因島市民会館
 ナチス時代のヨーロッパ。六千人のユダヤ人の命を賭けて救った杉原千畝(ちうね)という外交官がいた。
 [会員外の方もどうぞ・1500円]

スカートめぐり
 ささる波
 かさる波

三さいの男の子が、やってきて、勇ましく告げる。
 「あした、スカートめぐり、するんよ」五才の男の子に、そのかされたらしい。
 「ねえ、Mちゃん、Mちゃん、カッコいい男とカッコ悪い男と、どっちになりたいの？」と私。「カッコいい男」勇ましくMは言う。

「だったら、スカートめぐりは、せん方がいいんじゃないかな？」
 「だってね、ひとが、いやがること、するのは、カッコ悪いよ。スカートめぐりって、シツレいなこと、だしね」
 Mは、「ふうん。じゃあ、ボク、スカートめぐりはせん」勇ましく宣言する。

「Mちゃん、カッコいい」私は拍手した。
 見渡せば、世間には、カッコ悪い見本ばかり。マスコミはスカートめぐりを、知る権利、報道の自由と言ったりする。作る側だけのせいじゃない。受け手のニーズが反映してのことだもの。過剰報道のコントロールの為に、レシーバーを捨てたら？とどあえずは電気洗脳機じみた、テレビから。

双眼鏡

▼『風媒花』コラム名は氏の詩集から借用しました。折にふれての寄稿をおたのしみにとつては、魂に感じたことを糧に成長します。おなじく教師であり詩人でもあった宮沢賢治の「オツベルと象」という作品は、制約の多い仕事柄でも創意と情熱があればどれほどの事ができるかを示しています▼信するところを心おきなく表明できぬのは不幸ですが、それを不幸とも思わないのも不幸です。かつて、ハキハキ発表した「よい子」たち。あの子たちはどこへいったのでしょうか▼うわめづかいでない生き方、四季の恵み、それが田舎に住む喜びとおもいませんか？(平山)

- 岩城 広報にふるさと雑感コーナーが設けられること
- 尾道 土堂一丁目の海岸通りに少女と貝殻の「渚」像を設置した。製作は東京芸大名誉教授の淀井敏夫さん。ふるさと創生事業の一環。
- 今治 広報今治3月1日号に宝井琴枝氏の講談「山下さんちの物語」の要約がのっている。これは面白い。弓削公民館にもある筈です。
- 大三島 宮浦港務所前にあるアメダス(地域気象情報システム)のデータを即座収集できるプリンタ分岐工事が完成。県下では一番目。
- 生名 もうすぐ1年生はことしも二四名。プリンセスになりたい、飛行船の船長、歌手、アナウンサー、サッカー選手など理想が素晴らしい！

弓削通信

発行：弓削通信
愛媛県越智郡弓削町
土生318-2 平山和昭
電話：0897-77-3072

島の内情を知ったうえで 考えてみる。 島で生きるとは

言うまでもないことだが、島は水に囲まれている。人間がそこで生きていけるのは、実は、島が養ってくれているのだ。このことをまず念頭に置きたい。例えば、手近かな島を経巡る機会があればよくわかるが、タコが空腹に絶えかねたように、島に住む人々は島を食いつぶしてゆく。

往古からそうであったし、これからもそうであろう。島の持つ持っている容量が人間の欲望を上回っている間は、それでもよかったでしょう。いまはどうか？

開発といい、発展というが『結果』が目的か『過程』が目的かでその意味するところが大いに違う。端的にいうと現在の我々は、多くの場合、結果よりも過程が必要だから開発や発展を望むのだ。

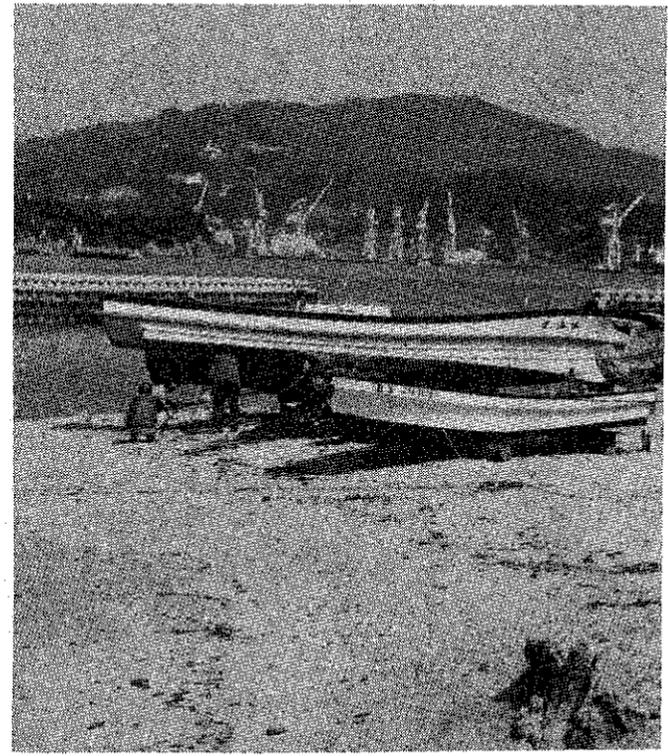
たとえば、道がよくなって通行の便利がよくなることよりも、道を造ることに依ってそれに従事する多くの人の生

活が成り立っている、というようなことである。百年の計が立てにくい理由でもある。決して悪いと言っているのではない。国や県の助成金をあてにする行政が在ってもいいし、そうでなければ成り立つたのであれば権利として主張することも必要だろう。

ただ、そうしたささやかな事業が開発できるのは、そこに島があるからこそだし、わたしたちは島のすねをかじっているからだ。そういう自覚があれば、山は母、海は母であることが納得できないかということだ。

今がよければ、というのではなく、子々孫々のためにと考えたとき、もっと違った発想が求められているのではないかと。

出番にむけて舟の整備。
瀬戸内はこれからが
いい季節。佐島にて



大規模開発は 住民の連帯感をも破壊する

マネーゲーム華やかかりし頃、全国至る所、リゾート開発構想がぶち上げられゴルフ場、マリナー、ホテルの三点セットは金太郎飴と呼ばれたのは記憶に新しい。

また多くの地域では、地元の期待をよそに「会員権」という『権利の転売』で巨額の金が、まさにゲームとよぶに相応しい狂乱をした。そしてゲームセットになった。

舞台となった地域は活性化を達成できたのだろうか。住民は幸福を手に入れたのだろうか。

俗に過疎地と呼ばれるような地域に、大規模な開発事業が持ち込まれることの弊害は自然な生態系の破壊のみならず、そこに住む人々の連帯感が破壊されると指摘されて久しい。たとえば、この度発覚した「弓削アイランドリゾート構想」に関して、弓削島の地権者の「開発同意書」が分かつているだけで二通も偽造されたらしいことは、その表われたといえよう。

ちまたでは憶測が噂を呼び住民同志が疑いあう事態が続いている。身に覚えの無い旨表明しただけで、逆に仕掛人にされかねない雰囲気だ。

一市民としての生き方が実直でも、組織の一員としての有能性は、個人の倫理感と比べて発揮される例はいくらでもある。一例を上げれば大手建設業の「新井組」の営業副部長は、山口組系の暴力団幹部と組んで、偽の兵庫県知事公印を押した公文書を偽造して(多分、私欲でなく、会社の為になるとおもって)したのだらう(昨年十月、逮捕されている。(3/27・日経))

違法行為は露見せねば無かったに等しいとする感覚が、社会の常識化しつつあるなかわが町もすでに例外ではなくなりつつあるのだろうか。

因島おやこ劇場 第2回地域例会

にっりにほかり座

午後1時30分
5/8(土) 上弓削福祉センター

前売 1100円
当日 2000円
1300円

電話 77-2569 前田

果敢に挑戦！ 高齢化社会になり老後の過ごし方に人々の目が向けられるようになった。生きがい一つとってみても千差万別。果たせてない夢に再挑戦するのも素晴らしい。太田の松下道生さん(70歳)は海外旅行に挑戦。その見聞記が寄せられました。

島外見聞録

序章

私は宗教団体成道会教団の一員として十一月二十二日から十一日間の印度ツアーに参加した。目的は釈尊の遺跡を訪ねて遺徳を偲び修業をしていくことだが、ビザの申請書には商用と観光の区分しなく、止むを得ず観光の方に○印を付けた。フライトに必要な保険は、一万円掛すて二千万円としておいた。

初めての海外旅行なので準備には苦勞させられたが、出発の日がきて期待と不安が心の中で昂まったのも事実である。

大阪空港を八時二十分出發
成田九時十分着。ここで関東組と合流。総勢三十名。
十二時三十分、印度航空ジャンボ機に乗り込む。五百人



印度紀行 *1

さぶられたが...
機内食のジュースは無料。
アルコール類は有料。ビールを注文したら何とキリンビールの一番絞りに紙コップを添えて出てきた。一缶、百十ルビー。千円札でお釣りを貰うと印度ルビー。これからルビ

以上に慣れ親しむことになる。為替レートで百ルビーは四百七十円。「よろしくな」とルビー紙幣をさじみ見つけた。中央の壁のスクリーンに映画が映された。『とんこう』西田敏行主演のものだが、音声は中国語。字幕は英語。少々難解だが荒筋は知っていたので、どうやら判かる、判かる、であった。

東京からニューデリーまで九時間半。時差が三時間半あることを思い出し、時計の針を遅らせる。又ビールが欲しくなって注文するとドイツのビール。三度目注文したら、メイドインアメリカがついて来た。十八時三十分ニューデリー空港。前方で言い争う声がする。どうやらバスポートなしで入国しようとした印度人が別室に連行されていくのが見えた。

現地のガイドさんが迎えに来ていた。年齢不詳の青年。流暢な日本語で「ホテルまで近道をします。暗いですが大丈夫です」

道路は舗装してあるが街路灯がまったくない。所々町の灯りがちらつく中を走り抜けてホテルに着いた。夕食はすでに準備されていた。ビール一本百三十ルビー。友達達のKさんと無事印度着を祝して乾盃。

二十一時三十分頃、国際電話が入った。長男から「おじいさんが死んだ。葬式はどうするか...」

覚悟はしていたが「お前に委す」それしか言えない。代って家内が「あなたは先生のお共をして印度を廻ってきなさい」という。この国際電話三千五十円也。(続く)

明治政府が開いた神奈川港が、必ず手狭になると見抜いた伊予の人、山下龜三郎さんが、横浜港を開くまえに、長いあいだ毎日、降っても照っても弁当持参で野毛山へ上り今の横浜市一帯や海の状態を観察、研究を続け、当時、誰も見向きもしなかった広大な荒野一帯を払下げ願って開港し、今日横浜市発展の基盤を造ったという。

弓削を想う

弓削にも田坂さんの商船学校、浜根さんの造船所、船長の界も、毎日の新聞を賑わしているのは、豊かな大物の醜聞が殆どではないか。弓削の如き純情家に満ちた所へ都会の垢に汚れた金を持ち寄ったら、簡単に弓削は金毒に犯されてしまう心配がある。悪に対する免疫力の乏しい弓削は、今後ともに、子どもたちの汚れの無い樂園として永続して欲しい。金毒に汚れた遊び人達の巢窟など、桑原、桑原。(S生・明治男)



(2)

花人

西川 修

百花繚乱の春である。花を愛で酒にほろほろ酔って友と語りた。そうは言っても当世、仕事にかまけている間に花は散ってしまうだろうか。

弓削島には渡ったことがない。やはり島のおきな集落にも春は別離や出会いがあるだろう。ふっと、「マーちゃん」という愛称が脳裏をよぎる。そして、ある日、駐在所のマーちゃんは巡航船に乗って島影に消えた。一期一会、もちろん彼に会うことはない。幼い日の別離が心の淵に潜んでいたのである。

考えてみると日本列島も島に変わりはなく往古から文化の伝播は波のように繰り返された。そして、ここには人が必ず介在した。人の生き方は文化を基盤としているからである。

人には会ふべし。近頃、そんな想いが募る。会いたいと願いながら果たせなかった人がいる。再び会いたい人がいる。「浮世」とはよく言ったもので、浮いて流れる命には限りがある。

弓削通信の編集発行人である平山氏から島への招待を頂戴した。私の故郷は生口島であるが、近隣の弓削島には歩を入れたことがない。当日、どのようなアイデンティティー(精神の同一性)が生じるだろうか。良い人達との出会いに酔いたい。

伯方

新町長・中野敏光氏は就任挨拶で伯方町をよく

するために町政を透明にして衆知を集め、町民と一体になって取り組むとのべた。

今治

市は教育文化都市づくりの一環として、全中学

校でコンピュータ授業の実施。常盤、日吉小学校の学校給食設備の整備を決めた。

瀬戸田

ジャズを中心に幅広く音楽を楽しんでいる演奏

グループがメンバーを募集している。練習は毎木曜ベルカントで7-0915。向井

因島

市長に手紙を出す月間に百十二件の提言や要望

が寄せられた。広報四月号にその一部と回答が掲載され、市の方針が示された。

岩城

三月末日付けで岩城村僻地診療所が閉鎖され、四月一

日、民営の岩城診療所がスタートした。医療施設の整備充実と効率よい運営に向けて。



倉本聰さん

わたしたちの谷へようこそおいて下さいました
—これはわたしたちの生きた記録です—

谷は眠っていた

あなたは何に感動していますか。感動を巻き起こしたこのドラマを、因島市制四十周年の今年、草の根運動でこの地に呼ぼうというのが私達の計画です。公演の予定は十月下旬。入場料は三千六百円程度になるかとおもいます。すでにテレビ新広島が、バックアップを申し出てくれています。そうならば

あなたは何に感動していますか。感動を巻き起こしたこのドラマを、因島市制四十周年の今年、草の根運動でこの地に呼ぼうというのが私達の計画です。公演の予定は十月下旬。入場料は三千六百円程度になるかとおもいます。すでにテレビ新広島が、バックアップを申し出てくれています。そうならば

あなたは何に感動していますか。感動を巻き起こしたこのドラマを、因島市制四十周年の今年、草の根運動でこの地に呼ぼうというのが私達の計画です。公演の予定は十月下旬。入場料は三千六百円程度になるかとおもいます。すでにテレビ新広島が、バックアップを申し出てくれています。そうならば

家を育てたいと一九八四年私費を投じて開かれ、今年で第十期生を迎えます。修業期間は二年。授業料なし。ただし塾生は自分で建てた丸太小屋に合宿し、生活費は自分たちで稼ごう。昼は労働、夜は勉強と厳しい修業に明け暮れています。塾が生れて五年目に、それまでの塾の軌跡をドラマに仕立てたのが『谷は眠っていた』

広島県では四ヶ所(庄原、呉、大和、因島)しか公演されない。福山、三原尾道方面からのファンが押し寄せるでしょう。しかし私達は、まず地元の人たちに提供したいのです。北海道の原野で夢を追う人々に触れてみませんか。因島地域の人々に「かちやあ・しょっく」を手伝えましょう。

世話人・中岡 徹

双眼鏡

山菜の王といわれるタラの芽。弓削でも賞味する人が増えた。可愛らしい気のない刺だらけの木の芽を最初に食べた人は勇者の名に値します。美味いから刺で守るかにみえ、実は芯芽をさがれると枯死してしまう脆さがある。形態を選んだのでしよう。ともあれ、し好品の豊かさはつまるどころ「開放的な精神のあらわれ」といえます。左は『谷は眠っていた』の作者です。解題は次号から。(平山)

いちご

よせる波
かえす波



弓削通信

発行：弓削通信
愛媛県越智郡弓削町
土生318-2 平山和昭
電話：0897-77-3072

広報五月号に平成五年年度の一般会計予算が報告されている。

私達町民にとって、町財政は、決しておろそかに考えてよいものではない。

自分たち、あるいは子孫に必ず強い影響を及ぼすからである。このことに、しかし実際には、なかなか興味もたれない。

三つほど理由があるようにおもわれる。

一、これら予算が身近なものに感じられないこと、つまり、自分たちの希望は、おいそれとは実現しないという行政に対する失望感。

二、町民が怒りを忘れていない。つまりこういうことだ。人の世は正論だけで成り立ってはいない。だが、正論で成り立つべきだとは、誰しも思っている。理想を高く掲げそれにむかって努力するからこそ、過程の過ちも尊いものとなる。

社会が持つべき理想を、このあるごとに現実と引き比べ、なしくずしに弱らせるような考えには、だから、怒らねば

ならぬのだ。

三、行政の『ご都合主義』つまり、町民の為と言いつつ実は『言葉だけのもの』になっていることへのしらけ。具体的思い当たることはいくらもある。

町民に行政側の意図をよく理解させたいと本気で思うなら、広報での報告も、もっと具体的に、かつ、分かりやすい用語で出来る筈だし、して欲しい。それが工夫というものでしょう。

縞の財布が空になる

本当に弓削町は貧乏なのだろうか

ふつう一般町民にとって議會を度々見聞するのはそう容易なことではない。したがって常識としては、議會では充分論議が闘わされ、自分たちが選出した議員諸賢は名に恥じぬ活動を展開していると思いは、広報等に掲載される報告には、全幅の信頼を置きたい。そう願うのは人情であろう。

その故にあらぬか、他市町村の広報、あるいは議会報告では、議員の質問や、理事者の答弁が具体的に掲載されているところがほとんどだ。言行一致という言葉を行行政の金の使い方にははめると基本方針どりの使い方が

ふつう一般町民にとって議會を度々見聞するのはそう容易なことではない。したがって常識としては、議會では充分論議が闘わされ、自分たちが選出した議員諸賢は名に恥じぬ活動を展開していると思いは、広報等に掲載される報告には、全幅の信頼を置きたい。そう願うのは人情であろう。



初夏

戦後教育の日本の原像を实践的に創造してみせた「山びこ学校」は、歴史上の遺産ととらえるだけでは消し去ることのできない問題をいまだに秘めている。「山びこ学校」が提起しているのは自己喪失症的な日本に対しての、また感動を失っている日本の教育界に対しての根源的な問いである。(本文より)

読んでもいいよ。読んでみました。

★遠い「山びこ」
無着成恭と
教え子たちの四十年
佐野 真一・文芸春秋

旅には新しい体験がある。月日を百代の過客とまで見立てぬまでも、慣れ親しんだ日常をこえたところでの経験は、自分の常識が試される。それはまた、自分の可能性の最発見でもある。
元・技師のまなこ、いよいよ冴える。

島外見聞録

実はこの日、素晴らしい印度の結婚式があった。庭の五十米四方のプールには造花のハスの花を浮かせ散りばめ、周囲からのイルミネーションで照らされた水は青く花はピンクに輝き、効果抜群というところか。加うるにオーケストラが準備され、演奏の多くを招待客が往ったり来たりしている。特に印度サリーが美しい。



印度紀行 * 2

勝 新太郎によく似ている花嫁の父親に「おめでどう」と祝辞を述べてから「どのくらいの子算でおられるのか」と尋ねたら「千五百万ルピー招待客は約六百人」という。ついでに追加予算も聞いてみたら「五百万ルピーを用意している」という。花嫁は十六才。どこまでが結婚式でどこまでが披露宴かわからぬが部屋に戻って二階

の窓から飽かず見つめていた私である。夜の十一時頃まで続いていたセレモニー。やがてライトが次々消えた。知らぬ間に眠ったようである。

二台のバスで出発。バスより見た街の表情は貧しい。多くの人が仕事がなく笑顔が見えない。ただ映画の看板だけがやたら眼につく。バスは全席二人シート。清潔で乗り心地はそれほど悪くはないが、何処か野暮ったい。テレビもエアコンもなく、窓際に二十センチの扇風機が十数個はかりついている。印度国産ときかされた。足漕ぎ三輪タクシーがやたら多い。それに信号機がつかないし、整理の巡査も見当たらない。よくこれで事故が起きないものだと感心する。バスを走らせていくと、太さ三十センチぐらい、高さ三メートルほどの柱を四本立てその上に巨大な変圧器をI基据えてあったのが意外であった。印度は二二〇ボルトで、このような大容量変圧器は、

松下 道生

年の数だけ手をたたこう

東京 岡 八代美 No.32

今月の会の日は、このまま暖かくなってくれたらと思うような、風もない穏やかな一日でした。陽気がいいと、待っている私達もほっと致します。

先月の会の時「来月は私の生れた月なんです」と言った方がありまして。そこで、今までご老人の誕生日に特別のことをしたことはなかったのですが、ほんの少しでも何かできたらと思ひ、ちょうど園の誕生会のように「きょうは〇〇さんの誕生日、皆で手を打って一緒に歌いましょう。いくつ、いくつ、いくつになったの？」「年の数だけ手をたたこう」と八〇回の拍手をしました。

園では多くて六回ですが、こうして八〇回もの長い拍手をしてみるとその方の人生の重みがひしひしと感じられ、たたき終ると自然に拍手がわいてきた一時でした。

食事は、春らしいおすし、ということ、祭りずしを中心に献立を立て、吸い物の椀種にも、梅花の生づや、桜の花びらに型抜いたはんぺんを散らしました。

デザートは手作りのパウンドケーキを用意していましたが、ご老人から豆大福の差し入れもあって、たっぷりした量になりました。

食後は、くじら組の卒園旅行(スキー旅行)のスライドを映写。白一色の雪景色に溜息が出たり、子供達が僅かな間で上達していくのに驚いたり、昨年同様、お見せしよかったです。

スライドの後は、新潟の大和町のことを特集したTV番組の録画を見ました。

番組では主に、在宅ケアが進み、国保料が軽減されたものの、国保の改定のため病院経営が打撃を受けていることが取りあげられていました。

大和町医療福祉センターを見学した職員が補足説明に、実際に見て感じた事を話しました。制度上の難しさは色々あるでしょうが、例えば特養ではベットの高さが老人に合わないとか分かったり、片端から「足を切りまくった」という報告を聞くとか、その姿勢があるからこそ、との思いが強く「ベットの足を切る位のこと、なんで他ではなかなかできないんでしょー」と安心して入れる病院がほしいですね」と、老いも若きも同じ思いにかられました。

九州で、村民の連帯感を見ました

「弓削通信」受け取りました。一面の記事は大賛成。(内容がむずかしく、まわり道して言わないとかけない記者さんの気持が出ています?)

三月の半ば、熊本県の通瀬橋を見に行ってきた(娘の顔が見たかったのですが)江戸時代のおわりに作られた石橋ですが、大切に保存されておりました。この地方は石工の技術がすばらしかったのか、たくさん石橋がありました。

私がひかれたのは、石橋もよかったけど、その村の道ばた、民家のまわりが美しく、空かん、プラスチックなど見あたらないのです。村そのものが大切にされ、生活していることでした。「村民の連帯感」を見た思いでした。(因島・山本)



市制施行40周年記念

倉本聡 - 富良野塾 in いんのしま

「北の国から」「前略おふくろ様」などのテレビドラマ原作者として著名な、倉本聡が北海道に移住して創った「富良野塾」をご存じですか。今年の秋、彼らが初めての西日本ツアーで因島へやってきます。広島県下では、庄原市・大和町・呉市そして因島市の4ヶ所だけの公演です。実行委員会「倉本聡-富良野塾 in いんのしま」では、チケットの発売に先立って、市民の皆様の予約を受付けます。ご希望の方は、往復葉書で5月20日までにお問い合わせください。折り返し詳しいご案内をいたします。



▲ 倉本 聡

共 催 因 島 市 因島商工会議所 10万人委員会「リフレッシュ・クリエイティブ因島」 テレビ新広島

後 援 瀬 戸 田 町 弓 削 町 生 名 村 因島市教育委員会 因島市文化協会 (社)因島観光協会

「谷は眠っていた」因島公演

入 場 料 S席(指定席) 4000円 A席(自由席) 3000円

問合せ先 〒722-23 因島市土生町7の4・因島市役所内 倉本聡-富良野塾 in いんのしま

公演日時 1993年10月26日(火) 午後6:30開演

場 所 市民会館大ホール

演 目 富良野塾による演劇

主 催 倉本聡-富良野塾 in いんのしま

上は「広報いんのしま」5月号から。弓削での連絡先：77-3807(山越) 77-3072(平山)

谷は眠っていた

一九八九年、東京で公演された「谷は眠っていた」は大きな感動の輪を拡げた。一方、辛口の批評もあったよ。そのことについて倉本聡はつぎのように語っている。(インタビュー・山根対助・一九九〇年)

「芝居というものの根本を思い違っている人たちが映画や舞台の評論をやっている。原作者の意図を理解しようともせず、現実に観客があれだけ興奮してることにもまったく無視して・・・」

具体的にはどういうことでしょうか。

「こういうことなんです。評論家達は『苦勞』をあんまり売ってこまけても白けるばかりだっというんです。僕にそんな心算は全然ないが、むしろ聞いてみたい。それではあなたたちは肉体の苦勞ってものが分かっているのかと。肉体を使って働くことがどういうことなのか、そういうことを訴えたかったのに」

「彼らも苦勞という。しかしそれはたんに苦勞という日本語を知っているだけではないのか。言葉で分かった気になっても、それだけでは他人の心を知るとか、他人がどういうふうにいるのかとか、他人の作業なんて絶対できっこないんです」



居心地の良い場所を作ってはいけない、と考えている。去り難くなるだろうし、そこに帰りたくなるだろうから。つまり、縛られるだろうから。捨てる事が難しいなら始めから持たなければ良い、と思っっている。

「所有している」という意識が、私を不自由にすることを恐れる。

夫、妻、子供、友人を、持っていないか。

職業を、免許を、あらゆる能力を、持っていないか。

家を、土地を、財産を、エトセトラ・・・エトセトラ・・・

ほとんど無縁の物もあれば、しっかり握りしめている物もある。その物の恩恵に浴する事と所有意識とは別問題だ。キケンな後者に在る。

あれこれ想いながら、晩春の庭に出てみれば、過日N氏より頂戴した実生の、くるみの苗が、冬眠から目覚めて、細い枝の先に、つややかな新芽をほどこしている。お早う！水を注ぎながら、コレを残してこの場所は去れぬなあ、と悟る。まるで星の王子様だ。困ったことだ。(さき)

子供の心に 夢を!

伸びざかりのわが子と愉快な時を過ごしませんか。それは「おやつ」のようなものかもしれないが、大量生産のものではなく新鮮で安全な心のもちった手作りのものを食べたいと思いませんか。

「おやこ劇場」はそんなメニューでいっぱいのレストランです。食べてすぐ力のわく、ポパイのホールレン草はおいていませんけど。

因島おやこ劇場十五回例会 『田の久わらい旅』六月十一日(金)午後六時開場。会場・因島市民会館。



尾道 ふるさと創生事業「彫刻のあるまちづくり」の一環として頼山陽像を長江口遊園地に設置した。作者 橋本次郎氏。これで六体目。

瀬戸田 三年前から毎週町民会館でバイオリン教室が開かれています。夢は大きく、島の交響楽団の結成で小学生、一般合せて只今二六人。情報センター等の機能も有り。

因島 市立図書館の新築工事が着工した。場所は市民会館隣接地。来年秋季オープン予定。多目的ホール、情報センター等の機能も有り。

岩城 村議会第一回定例会で教育長は業者テストによる偏差値に過度に依存した進路指導や生徒のランク付は人権問題に抵触と答弁。

大三島 大三島美術館では春の常設展として花を中心とした館蔵品五六点を展示している。期間は六月三十日まで。同館の作品の質の高さは定評あり。

弓削通信

発行：弓削通信
愛媛県越智郡弓削町
土生318-2 平山和昭
電話：0897-77-3072

風土のスケールは、住む人々のスケールを規定するかのようだ。一つの命の中に別のいのちがあり、その中にも又べつの命があり、裡にも外にも無数の命の連鎖がある。

島外見聞録

対岸のシーク寺院には入ることが許されないと、ガイドの説明。川幅は約二十米、今立っている場所は、水面より三十米の高さで五米幅の道路上である。これから寺院前の広場で葬式が行われようとしていた。四畳敷程の四角の台場、円形の台場が三十数個、二十米間隔に設けられていて、その上で死体を焼くというマニエアルである。寺院から担ぎ出され、石の上で着衣を全部脱がされる。その着衣は川に投げ込まれ、ゆるやかな流れに浮びながら下流の方へ去ってゆく。そうして、一枚のカキ色の布で身体は包まれ、家族が大きな泣声で別れを惜しむ。立ち合うのは同じ姓を持つ人々に限られるという。



印度紀行 *3

やがて隣接した石台に薪が積み重ねられ、かばねをその上に移動して油をかけて焼くことになる。我々が見たのはそこまですである。最後に食料貯蔵庫を見にゆく。円形でもなく角型でもない。この蔵は、頂上まで一四一段の石階があり、現在は政府直轄で、最大規模の米穀類が保管されている。どの位の貯蔵が可能なのか推定しかねるが、石灰と煉瓦で固められたもので何世紀に出来たものか

は判からないが、途方もない建造物が印度には存在する。見終わってラジギールのホテルへ。二十時夕食。相変わらずバイキング。ビールが安かった。二十四日、八時出発。ナールンダ大学跡へ。その昔、お釈迦様のために長者が建設した大学は、無残にも異教徒のために徹底的に破壊された。現在修復が進められてはいるが、この遺跡、あまりにも大きすぎる。いま残っているのは顔をそがれた仏像群と煉瓦壁のみである。釈尊の育った王舎城、竹林精舎、牢獄見学と忙しいスケジュールであった。帰る直前、新婚旅行の若者と逢った。記念撮影に入ってしまったときの二人の嬉しそうな

な顔が忘れられない。昼食後霊鷲山へ。さほど高い山ではない。山脈はなだらかに流れ、ゆるやかな傾斜をなしていた。私達は徒歩で登山したが先生は高齢でもあり、カゴで登って頂いた。眼下は広々とした樹林が層をなすように拡がり、涯なくつづいていて、頂上の僧は祭壇をしつらえるだけで、登山者の寄進に頼って生活をしているようである。岩陰に一人の修業僧が鉢を前に座禅を組んでいた。十七時、日本式ホテル「法華クラブ」に着く。久かたぶりに日本料理にありついた。料理はまづまづというところだが、賞めるとシェフが顔を出身だという。(続く) 松下 道生



登校拒否や不登校の子供が増えつつあるといわれる。現在、学校に行かない、あるいは行けない子供達はどうすればよいのか。そういう子供達が、学び、交流する場「東京シニール」を主宰している元教師、奥地圭子さんたちの

「常識」といわれるものの厄介さは、それを振り捨てるのが難しいところにある。普段たびたび経験することだが、俗にアト知恵とかコロンブスの卵とかいわれるように、或る困難に対処する方法は、一つしかないというほうが稀である。「常識」も金科玉条ではなく、判断の目安でしかないといえるだろう。最近、強い感銘を受けた本がある。「学校は必要か」(奥地圭子著 NHKブックス 八百三十円)

学校

なら必要か

どういう

は必要か

実践の記録である。シニールとは、精神を自由に使うという意味のギリシア語だ。多くの子供が、学校に行けば行くほど、個性や自主性が潰されたり、感性や創造性が育たなくなっている現状は「学校へ行けば、必ずその子の成長にプラスになる」とはいえなくなっている。と彼女は言う。誤解のないよう付け加えると、奥地さんは学校を否定しているのではなく、逆に「どういう学校、ういう学校、なら必要か」と問

ふたたび引用すると「子供が学校へ行かないとか行けないとか悩んでいる人は多いが、その前に、そもそも学校は子供にとって必要な存在なのか考えてみなくてはならないのではないか?」「生命のかたまりである子供達が、生命の育つ善であるところの学校で、これほどまでに息苦しく、育ちにくい状況は只事ではない。」「東京シニールの子供達は、いじめ自殺の報道を知るたび『いじめがあるなら、なぜ登校拒否しなかったんだらう?』という。見方を変えれば、登校拒否する子は自分自身を守ることが出来ているのだからむしろ、登校拒否できない子のほうが私には心配なのだ」「それぞれの歩みかた、通信制高校・大学、定時制、中検大検、留学、アルバイト、就職、ならいごとなどは、登校拒否の子供達とって、ごく一般的な進路なのである」

自分の心の差別を見落とすいませんか?

——人権作文集より 弓削中学校三年女子——

先月、弓削町同和教育協議会(会長・木下良一町長)発行の、九十二年度人権作文集が各戸に配布された。弓削町の小、中学校、高校の生徒たちの作文で構成されるこの文集は、他人の痛みをわかる沢山の子供が育っていることがうかがえる。しかし、不審に思うことも一つだけある。(自省、自戒をこめて書くのだが)弓削町の人権作文集は、いつも作者が「匿名」なのである。「名乗り」ということについて考えてみよう。人が名乗りあうとは、互に見えぬところの心、互に人と認めるあう最初の一步である。この世に生をうけて登す



が、全体から見ればまだ少数かもしれない『学校へ行くことを拒む子供たち』によって揺さぶられている。いずれ、学校教育のありかたは、大きな変革を余儀なくされるに違いない。そこで思うのだ。こうした人々の運動は、ちから弱く少数意見だからこそ尊いのだ。



《散文詩》

みかんの花 西川 修

島を巡るボンネットバスは初老の運転手と、高校を卒業したての娘が車掌であった。玩具さながら、小箱はうねうねと曲がりくねった道を、砂ぼこりを巻きあげて走った。みかん畑に囲まれた村のバス停から従兄弟と町へ行ったことがある。土産物を買った門前町の商店街を往復して、ぼんやりと飽きもせず港に出入りする客船を眺めて帰った。みかんの花はうっとりさせるほどに香が甘い。萌黄の若葉に白い十字型の星を匂わせて、ほろほろと散る。あの日、花が咲いていたかどうかは思い出せない。それにバスはとっくの昔に都会並みのワンマンカーになり、本四架橋に伴う道路整備によって枝が車窓をかすめることもない。でも、もう一度バスに乗ってみたいと思う。甘美な香が少年の日に誘ってくれるかも知れない。

「弛緩」という言葉を忘れていた。故郷はみかんの花盛り。老いた父母も農閑期でひと時の骨休めをしていることだろう。

Advertisement for a performance at Hiroshima Public Hall. Text includes: 'ベンポスタ 子ども共和国', '弓削の歌', '7/29・30・31', '広島公演', '7/29(不) 30(金) 31(土)', '平和のメッセージをサーカスに密して...', '広島安佐北区 スポーツセンター'.

弓削町地域リハビリテーション事業 “つどいの歌” 瀬戸内の春 (北国の春 かえ歌)

- 1. 青空 青い海 みなみ風 さくら咲くあの丘 瀬戸内の ああ瀬戸内の春 季節が都会ではわからないだろう 届いたおふくろの 小さな包み あの故郷へ かえろかな かえろかな
2. 波うち うみ鳥 弓削みなど 鯛およぐあの海 瀬戸内の ああ瀬戸内の春 好きだとおたがい言いだせないまま 別れてもう5年 あのこはどうしてる あの故郷へ かえろかな かえろかな
3. 豊島 佐島に 弓削の町 遍路すず聞こえる 瀬戸内の ああ瀬戸内の春 あにきもおやじ似て無口なふたりが たまには酒でも 飲んでるだろか あの故郷へ かえろかな かえろかな

6月3日、上弓削福祉センターでのリハビリのつどいに参加させていただいた。千葉リハビリテーションセンターの佐々木健医師をお招きして、早目の七夕まつり。玉入れゲームや力いっぱい歌声は、たのしみながらの訓練でした。上記のかえ歌は、とてもすばらしかったのでご紹介します。(平山久子)

解題 谷は眠っていた II

当時の僕の日記のあちこちをひっくり返して見てみると慣れない肉体労働のつらさ、一人になれない集団生活への焦立ち、授業に対する疑問、先生との距離、理事たちとの意識のズレ、地元の人たちに対する遠慮、恋愛感情、生れ育った東京への憧れ等々、それはもういろいろな思いが渦巻いていて、精神が異常なまでに病んでいたのが分かる。皆も程度の差はあるにせよ同じような状態だったに違いない。しかし炎天下の気が遠くなるような農作業よりも、外に出た途端に洗い髪がバリバリと凍った冬の寒さよりも、何より一番僕たちを、いやしくなくとも僕を苦しめたのは、人間関係に他ならない。同世代であり、しかも同じ夢を抱えている仲間同志とはいえ、閉ざされた世界の中ではどうしても他の塾生との亀裂が生じる。丸太の椅子が飛んできた事もあったし、殴りあいをした奴もあっていった。女子は豪快にもヒステリックに怒鳴りあつたし、口論の末、寒い塾地に飛び出して、仲間が捜索した夜もあった。元来根性のなかった僕を含めて、十七人が十七人とも脱落寸前までいっていた。それらがあの九月末、加藤さんと勉の退塾劇に集約されていった。そうして僕たちは何かを乗り越えられた気がする。あの時期全員があのまま潰れていたら今の塾はなかったと思う。ごうまんにも僕たちは二人の犠牲をもって塾を続けていったのだ。(二期生・石井信之)

Advertisement for a performance by Tamiya Tetsu and Tomiyama Noboru. Text includes: '谷は眠っていた', '倉本聰 -- 富良野塾', '10/26', '因島市民会館 午後6:30開演', 'S4000円・A3000円'.

こどもは、きつと大人になるかしら？ 成長って何だろう？ 毛虫と蝶々、なぜ世におじゃる。わしらはこの世のはたらき。毛虫のまんまが働きで、働く毛虫を産むために蝶々と成つてとびます。...

生きる歓びをたたえ世界を変えようと呼びかける『ベンポスタ子ども共和国』の百十人の子ども達。世界一若い、だけど最も優れた曲芸師たちの一座。日本のこどもたちの中に眠っている 自信 意欲 希望 勇気よ！



子供達が数人、息せききって駆けてきた。「たまご、うんでるよー！」まるで戦利品の様にして、まだ温かい卵を、しっかり手にしている。職場であるところの幼稚園に、ニワトリが一羽居て、毎日一個の卵を産むのだ。子供の何人かは、ほとんど毎日このニワトリの「出産」に立ち合い、その一部始終をかたずをのんで見守る。見ていると、結構辛そうな様子だ。子供達も「ガンバレ！ガンバレ！」などと励ましながら卵が出てくるのを待っていて、生れ落ちるや、まだ放心状態のニワトリから、さっさと温かいのを略奪してくるのが日課だ。

略奪品に日付を記してもらうために、私の所に持ってくる。日付を記しながら、その形にふと見とれる。ころがる。ころがらない。どっちでもない形。ニワトリは考えた事があるかしら。自分の卵の形について。生命一個のファジー。宇宙の知恵に 感服する。子供のゴトバは こうだ。「神さまって、スゴイね！」

眼鏡 一番印象に残ったことは大気の薄さです。宇宙から、地球を取り巻く薄い大気の層を見ると、自分たちはこの大気に守られて生きてると実感しました。帰還直前の僅かな時間には、自分だけのために夜から昼に変わる地球を見続けました。まるで光が肉体にしみ込むようでした。自分の生れ育った場所を大切に、それが環境を守る。ことなんだと思います。因島青年会議所主催・秋山豊寛氏の公演「宇宙からのメッセージ」より。六月四日。

生名 生名村婦人会はゴミの減量運動に取り組んでい... 因島 芸子文化情報センターの歌入れは一才から四十才までの市民と市長によって行われた。四十基の水軍太鼓も出て音頭を取った。岩城 平成三年度から西部地区の農業集落排水施設が完成した。現在各家庭内の配管工事を進めている。伯方 伯方町では昨年イ制度を導入している。本年は関西圏在住の外国人が対象で、六月の受け入れ家庭を募集中。今治 エイズ患者、感染者の増加は深刻な社会問題となつてきているが、市および今治中央保健所はエイズについてのビデオテープを貸出している。

駆け足で通り過ぎた印度紀行。それぞれの地に様々な思い出とエピソードを残して。ご本人のみならず彼の地の人にも印象深い一行だったにちがいない。紙面の都合でカトマンズ、シンガポール、そして途中の抱腹絶倒な話をたくさん割愛しました。

海外見聞録

ブツダガヤ

バスは行けども行けども限らない農林地帯を走る。途中トイレ休憩したくても場所がない。道路傍の傾斜地で全員を足す。釈尊が尼蓮淨河のほとりにて、少女スジャータの捧げた山羊の乳で体力を恢復され、そうして菩提樹の下にて悟りを開かれたところ、それがブツダガヤ。

アショカ王の頃に建てられたという四角形の巨大な塔が見える。中は寺院風になっていて釈迦像が祭られているが残念なこと観光としての価値観で作られていた。管理僧二人が我々のために「うすべり」を用意してくれた。

三十人がきちんと並んで経本を開かず一部経約四分の唱経。これ程素晴らしい荘厳なハーモニを今まで聞いたことがなかった。唱経し終わったとき右手にひざまづい



印度紀行 * 4

レスへ。簡易舗装をした道路をバスはひた走る。両側の田は稲の刈り入れ真っ最中。広大な田はどこまでも続き、遠方にヤシの木が数本づつ立っている。少年が山羊二頭を追いかけて田のなかに入ってきた。彼らは牛や山羊に落穂を

ベナレス

十二月二十六日、一路ベナレスへ。簡易舗装をした道路をバスはひた走る。両側の田は稲の刈り入れ真っ最中。広大な田はどこまでも続き、遠方にヤシの木が数本づつ立っている。少年が山羊二頭を追いかけて田のなかに入ってきた。彼らは牛や山羊に落穂を

食させている。町の住人に比べて農村は遙かに裕福のように見える。

ベナレスに近いサルナト。ここは釈尊の初転法輪の地。池の中に釈迦像が立てられていた。少年がメダカ五匹を売りに来た。別の少年はナマズ二匹を容器に入れて持ってきた!

国営シルク工場を見学。織子達がシルクを織っている。織子の手元をじっと見詰めていたら織子の一人からチップを要求されたのはギョッとした。少し離れた場所では製品が売られていた。売子は一人だがなかなか日本語が達者である。「あなたいくつ買うか。サービスするよ」観光客慣れた対応は大したものだ。同行の女性から一緒に行つて値切つてくれと言われたがその必要はなさそうだ。

女性は強い。「あなた私の特別の友達」「ボールペン」

旅も大詰め

二十八日、カトマンズ空港でガイドさん交替。ネパールのガイドさんは、英、仏、中国語が喋れるという。世界は広い。カトマンズは乞食がない。が、土産を買ってこないか、同じ。日本製の自動車をかなり見受け、人々の表情が明るいのは政情が安定しているからか。早目に切りあげて土産を買おう。

十二月二日、朝七時大阪空港着。手には膨らんだバッグとバスボートがあった。

(おわり)

松下 道生

僧や神官などを仕事としている者が、個人の資格で行う調査研究、あるいは研修などのためには、公金の支出は受けられないのか?

このことを考える例が町内であった。

弓削町総務課は『不可』との解釈であるが、あなたはどう思いますか?

政教分離原則と呼ばれる。

参考・憲法第八十九条(抄)

●公金その他の公の財産は、宗教上の組織若しくは団体の使用、便益若しくは維持のため、これを支出し又はその利用に供してはならない。

したがって、憲法に則って個別に判断すればよい、としているが、弓削町でのそれは、宗教上の組織、団体のみならず、個人レベルにまで及ぶとの解釈になる。

法の解釈は『条文に書かれている字句が全て』と云ってよい。それ以外は、拡大解釈や曲解のおそれありとして、とりわけ注意を必要とする。

弓削町のばあい、町名義で「神社秋まつり」や「盆の行事」等への寄附がなされているし、宗教団体の懇親会に公の施設が使われたりする。宗



島内一斉掃除の日、私達は看板を作りました。(土生の公園で)

弓削通信

発行：弓削通信
愛媛県越智郡弓削町
土生318-2 平山和昭
電話：0897-77-3072

海外研修費補助金交付制度

人生の指針となる古典や格言は、学術上のことでもなければ、自由な解釈のほうがかえって生き生きすることが多い。

では法律はどうだろう。言うまでもなく、勝手な解釈がまかり通るようなことがあってはならない。

最近あった次のような場合はどうだろう?

平成五年度「弓削町民等海外研修費補助金交付制度」に応募した町内の一住職は、政教分離原則に反す、として交付申請書の受理を拒まれた。

(この制度の運用面での実態は興味深いので改めて報告したい)

県の市町村課では、指針のようなものは定めておらず、

具体的に実績を公開せよ

担当者の胸先三寸でふりまわされるのはゴメンだ

教団体に属していても、この研修費の交付をうけた人もいる。また違憲論もあるなか、文化財保護のためには神社仏閣に補助金も支出している。このように、一つ事柄に複数の原則があるかにも見える。当然、困る事態も生じる。

特に今回の例のように、公僕たる公務員が職務上、手にした権限を気儘にふるっていることとらえる事態だ。

それとも、そんなこと、問題ではないか。

この件では、他の申請者からも総務課の応対には非常に不快感をもったと聞いているが、表立たねば、無かったに等しいことには成る。

住民にサービスする立場にある役場職員が、もしそのようなことをすれば、世間には不満が溜る。そのうえ首長の知らぬところでの出来事なら責任者たる首長の威信は手酷く傷付けられることになる。

忘れてはならぬこと。

町民は役所から恩恵を被る立場ではない。

風の子 ふう
(林原玉枝 ことえ)

「そりゃあ、すごく大事なことを、おまえが見たちゅうことかもしれんな」「そうかしら」「そうとも」

その日、風の子ふうがみたものは? 夏休にはぜひ、星の王子様よりはこの作品を。

暴論に正論あり。
いわく、今の世を見るに、愚者また時を得たる如くばつこす。理非を弁せず、朝三に怒り暮四を憎み、朝四に喜び暮三を願う。世の正義おむねこれなり。故にサル正義とす。 キッ、しかしし思わずウナルの正論が開陳される。

サル正義
(呉 智英 双葉社)

もうすぐ夏休み。
楽しみはなんたえ泳ぐと
たけどゴミがアカアカ海
じゃがっかり。私達もゴミは
海に捨てない約束しよう。

記 聴 傍 会 議

六月二十一日、午前九時町議会の傍聴に行く。本日の傍聴者は五人。この三十席程の傍聴席が人で埋まれば、今以上に議会が活発になるのにならぬ、と思う。

最初に町長のあいさつを聞く。その中に弓削大橋架橋後の第二橋架橋についての説明があった。瀬戸内の島々の発展のため、どの橋が優先されるのか考えてゆかれるとのこと。次に議員による一般質問がはじまる。今回は土居議員と地元議員が質問した。

土居議員

- 公園の整備について
- 重要案件の町民への説明の仕方について
- 第二橋架橋について
- 町内の空き家等の管理について

以上四点。

地元議員

- 佐島のゴルフ場開発の進捗状況について
- 学校給食について
- 情報公開について
- 町のキャッチフレーズについて
- おこもり堂設置について

以上五点。

質問には町理事者側から答弁がなされるのだが、正直なところ要領を得ない。

今回の答弁の中で特に印象に残ったのは、古江教育長の給食問題に対する答弁と、それに対する、質問者を含めた諸議員の態度でした。

『給食には教育的効果もあるし、ない面もある。が具体的に言えない。せつかくの機会なので給食はずっと大事にほりさげ検討していきたい』

廃止の方向で検討をしていると言いつつ、議員の中には学校給食を食べている子供の親もいる。なぜ、この答弁について一言も発しないのだろうか？給食問題だけではない。他の問題についてもである。なぜ議員は議論を避けるのでしょうか？とても理解できません。

議論のない議会で重要案件が議決されるのなら、町民がいくら議案を知らされたところで、どうしようもない？私の頭の中は？？？でいっぱいになり、重い心で議場を後にしたのでした。

それでも終わりに一言。議事録が広報に掲載されるされることを希望します。(傍聴者)

紫陽花の花も枯れ出すと、見苦しいものです。雨にぬれた美しさが、つい先日まで見られただけに哀れさを感じます。毒だみの葉も花も可憐だっただけに、茶色になってくるとやはり見苦しさを感じてしまいます。吉田兼好だったらどんな言い現し方をしたでしょう。

岩にはりつくように紫の花をつける「岩煙草」もハイカーの手の届く所はすべて取り尽くされたようで、年々少なくなっています。育てるのは決して容易な植物ではないのですが、天気図を見るとまだまだ

湯舟余情

分け入っても分け入っても青い山

種田山頭火

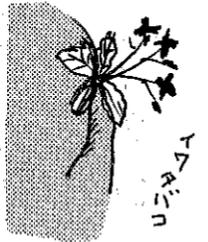
湯につかかって句を吟じてみる。本屋で見つけた「風呂で読む「漂白詩人」」を求めてからの風体である。紙に合成樹脂を使っておりほんとうに湯に入れても平気なのである。漂白の詩人になり損ねた身にとっては東の間の幻夢である。裏山の雑木林でホトトギスが啼いている。

山頭火は季節にも定型にもこだわらない自由律俳句に生きた。それは彼が十歳のとき母フサが自宅の井戸に投身自殺して不幸が始まり、酒造業に失敗して一家離散、妻とも別れて放浪の旅に発つようになる。その梓にはまりのような宿命がそうさせたのかも知れない。捨てようとして捨てられない煩惱を懐に歩くしかやりようはなかった。酒もやめられない。死のうとして死ねない。どこまでも青い山が続くのである。

尾道で旅装を解こうとした山頭火は「女人を抱きたい。」と言った。先日、知人の老詩人から伺ったことである。しかし、当地に花街を案内する者はなく、三原の仏通寺に句碑がある。(西川修)

この間の日曜日、菊川さんがあじさいが見たくなると訪ねて来てくれました。逗子市と鎌倉市の境にある曼陀羅堂跡に行ってきました。開門まぎわだったので、ゆっくりと覗られました。一時間後には、まるで蟻の行列のように小高い所にある堂に向けて人の列。明月院(北鎌倉)など、もつとひどくて、行く人と帰る人で、すれちがうのも困難なほど。

都心から一時間で、まだいく分自然の残されている観光地なので仕方がないのかも知れませんが、でもでも首をかきつけてしまいます。



尾道 朗読劇『この子たちの夏』出演 日色ともえ、高田敏江ほか。七月二十六日 尾道市公会堂。開場十八時 二千円、二二・六八九〇

今治 瀬戸内音楽祭3、出演・スターダストレビュー、爆風スランプ他。八月七日 唐子浜特設開場にて。開場 一六時半。当日券五千元

瀬戸田 シャンソンの夕べ『パリ祭'93』出演・石井好子、木原光知子ほか。七月一七日 ベルカントホールにて。開場 一七時。三千五百円

岩城 津波島サマーキャンプ。近島の希望者先着50名まで。七月十七、十八日 六千円、七五・二五〇〇 主催・青年団、公民館。

伯方 『虹と落日』が演劇化され八月一三日 日と一四日、伯方町公民館にて公演される。劇団神戸自由劇場。開場、一三時(一四日) 前売二千円。



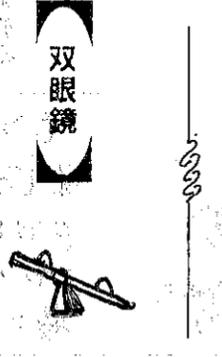
一家の主になったら、してみたい、と思っていた事が在った。何時でも好きに風呂に入る、というのがそれだ。

数年前に、一家の主になってしまったので、自動的にこの幸福が手に入った。

朝でも昼でも、欲した時にいつでも入れる。

厳寒期の早朝出勤だって、風呂上りなら、心もほかほか首すじ伸ばして口笛、という具合だし、春の昼下がり、窓からさし込む陽光と白い湯気とが遊ぶ様を、うっとりながめるのは浮世の極楽。かくして、悲しくて入り、嬉しくて入り、疲れたから入り、いざ出陣と入る。季節の果物丸ごと身体と一緒に放り込んで、みかん湯、りんご湯と、遊びで入る。演出などなくたってとにかく、湯の中に、ずずずっとからだを沈めて、ボウツとなる。

で、その事の、一体何が幸福？ときかれれば、まあ何の事はない、所詮、個人の幸福とは、そんなものなのよ、と答えるしかないのだけど。(ぎぎ)



▼思わぬ長梅雨となった。鳥から農家が軒並み姿を消し、生活用水も中国山地を源流とする。日常を支える諸事情は一島の枠をこえ、他地域の事情とリンクする。遠く中国山地が乾けば鳥がかわき、かの地が病めば鳥が病む▼叢にキリギリスが多い。そうか、今年も燕の渡りは少なかった。

▼ある日、やたら燕が群れている。そうか、巢立ちがあったのか▼自然に生きるものたちは諸事情にかかわりなく、懸命に元の姿に立ち返ろうとする。▼「インド紀行」はひとまず終了。次号からは「房総の海から」です。(平山)

弓削通信

発行：弓削通信
愛媛県越智郡弓削町
土生318-2 平和和昭
電話：0897-77-3072

夢と希望と冒険を連れて

『ベンボスタ子ども共和国』から

サーカスがやってきた

七月三十一日、ロス・ムチャ
ーチョス・サーカス広島公演
を観に行った。

昨年の七月、弓削での一六
ミリ映画会(ベンボスタ子ど
も共和国)から一年余。たく
さんのボランティア精神がこの
素晴らしい少年少女たちによ
るサーカスの、日本公演を実
現した。

このサーカスは、ベンボス
タ子ども共和国(スペインの
ガリシア地方にある。一七ヶ
国から集った一〇〇人の子供
と二〇人の大人が暮らす共同
体。サーカス学校があり、サ
ーカスの興行収入が、国の主
な財源である)の子供達が自
分達の国を維持するための費
用を稼ぎ、自分たちの夢と希
望を、世界中の子ども、ある
いは、かつて子どもであった
人々に伝え、共有したいと公
演を続けている。

九月一日の離日にむけて残
り四ヶ所で公演があり、八月
二一日〜二九日までは、神戸
ワールド記念ホールで公演が

としてきた、かつての封建的
身分制度の毒氣にあたってい
るせいである。

西洋のそれは、太陽のもと
の大輪のヒマワリ、咲き誇る
花々。子供達のあこがれの的
であり、いきいきとした躍動
感あふれるものとして在ると
いう。

ロス・ムチャーチョス・サ
ーカスも例外ではない。
演技水準は高い。オリンピ
ックのウルトラC級の技がか
かるかと演じられ、絶やさぬ
微笑の中の真剣なまなざし。

国際サーカス学校コンク
ールで常に上位という百人近い
子供達が一斉に、空に、地に
舞う壮観はとて言葉に尽く
せない。それは、ただ曲芸が
出来るというだけではなく、
学び努めて身につけた『困難
な技』を披露する喜びと、誇



雑記帳

市広島 写真が出現した。訪れた
平和記念 観光客らほびつくり。
公園にある生活共同体「ベンボスタ
子ども共和国」のサーカス「原爆の子」のように子ど
の像の前に一日、像を
つくりの人間ヒラミッド
セージを送りたい」と特技 世界が来るのはいつ?

→毎日新聞八月二日掲載記事

りと自信に満ち満ちている。
強いものが下で支え、その
上に弱いものが乗り、一番て
っぺんに子どもが立つ。そう
いう世の中を理想とする彼ら
の全身を使っているメッセー
ジは、親離れ子離れもむづかし

く、豊かさというものを勘違
いしているかのような日本の
子どもたちと、夢や理想をか
なぐり捨てた、かつての子供
達に「もういちど、夢をもと
う」と呼びかけている。



(5)

原爆爆心

元安橋のたもとでは町内会の人たちが灯籠
流しの受付をやっていた。慰霊碑に合掌して
夕暮れの平和公園を出た。被爆四十八年、竹
桃がずいぶん大きく育ったと思った。

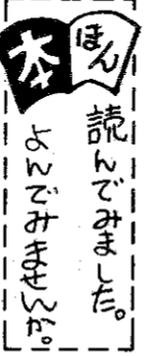
「ちちをかえせ ははをかえせ」と序
に書かれた峠三吉の「原爆詩集」が発行され
たのは一九五一年九月二〇日である。装丁は
四国五郎であり、ガリ版印刷で掌に載るほど
の小さなものである。

歌人の深川宗俊さんからこの「原爆詩集」
を見せてもらったことがある。深川さんは戦
後、三吉と「反戦詩歌人集団」を結成して活
動した無二の友である。

峠三吉、没後四十年、今年には彼の原稿や書
簡が発見されたり、「風のように炎のように」
峠三吉」として、その生涯が劇画になって
いる。八月六日、その資料展に足を運んだの
である。

生きようとして手術を決意した。そんなこ
とを深川さんから伺ったことを思い出した。
三吉は手術台から天に召されてしまったがヒ
ロシマの心は川のように流れている。

(西川修)
*「風のように炎のように」 峠三吉」は汐文
社発売、一五〇〇円



賢治という天才を師にもつ
た子どもたちは、四年間ひた
むきな教師 賢治を見たにす
ぎないのかもしれない。が、
たった一回の講義をそらんじ
ている人もいるという。わか
る、わからせるとは?

読書の楽しみは、読むこと
もさりながら、買うことにも
ある。欲しい本がある場合は
落手の喜びも大きい。最大の
喜びは、書店にて、第六感で
手にした本が大きな収穫をも
たらせてくれた場合だ。

本書はまさに『それ』だっ
た。

宮城県 古川市の小学校教師、本田
義幾さんは、弓削道鏡の汚名を晴らす
べく全国の道鏡ゆかりの地を訪ね、精
力的に活動されています。すでに弓削
通信にも「道鏡のこと」と題して寄稿
をいただき、また、ご自身の体験した
学校の統廃合についての一文も掲載し
ました。(十九、二十、二十二号)

このたび氏の長年の夢の一部である
『弓削道鏡資料展』が東京で開催され
る運びとなりました。

機会ある方は是非どうぞ。

弓削道鏡 資料展

- 会期 9月1日(水)~9月5日(日)
- 会場 近鉄百貨店 東京店 6階画廊
JR中央線吉祥寺駅中央口
☎(0422) 21-3331
- 入場 無料
- 主催 道鏡を知る会 (山野としえ 大阪府八尾市植松7-6-4)
道鏡を守る会 (田村豊幸 東京都杉並区下井草2-5-16)

【おしらせ】指定席は残り 100席をきりました。当日券なし。チケットのお求めは早めに。
一人では観ないこと！ きっと感動を語りあう相手が欲しくなります。

10/26 (火) 因島市民会館 午後6:30開演 S4000円・A3000円

谷は眠っていた 倉本聰 富良野塾

水龍太鼓

いよっ!
早くから八月七日のふるさと夜市を楽しみにしていた。和太鼓のサークルがデビューすると聞いていたからだ。水龍太鼓と名付けられた彼ら。向かい合う演奏者と観客との間に一瞬、緊張と期待と

がぶつかりあう。やっぱりと太鼓はエエ。紅潮した顔や首筋に光る汗が、リズムカルに揺られて観客の興奮も高まる。拍子をとる目が真剣で初々しい。少年少女たちが飛び入りで打ち上げる日も遠くないだろう。はやくそんな日がくればいいと思う。まずは「ブラボー」だ。



いよっ! ウルトラン

吉海町、宮窪町、伯方町主催の第1回水軍レースが7月11日 宮窪沖で開催された。男女あわせ46チームの参加者のなかで、弓削町商工会青年部のボディペイントのブラウン管の勇士達が人目を引いた。



水もッポー! 房州の水

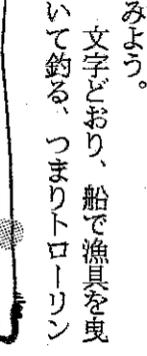
港の見聞録

最近、釣りブームで、大勢の人が船釣りを楽しみにやってくるが、釣りの考え方も随分と様変わりしてきたようだ。以前ならクーラーを持ってくるのは良いほうで、なんにも入れ物を持たずの客も多かったそうだ。



最近、釣りブームで、大勢の人が船釣りを楽しみにやってくるが、釣りの考え方も随分と様変わりしてきたようだ。以前ならクーラーを持ってくるのは良いほうで、なんにも入れ物を持たずの客も多かったそうだ。

段々なくなってきた。これは、いま世界の海から日本の漁船が締め出しを食っているが、獲れば良い、獲りつくし、という姿勢が資源の枯渇に拍車をかけていると見なされたせいではないか? それだけのことも、してきてたのではないのか? という反省も必要だろう。



グのことで、板曳き、ベシ山曳き、バクダン、ヒコーキ等多種の方法がある。いかに早く魚のいる場所に船を持っていくかが第一のポイントで、『魚は山にいる』と知ることでもある。「山立て」。そこからでも同じ用語の筈だ。

お風呂に服を着て入る人は居ない。当然ハダカで入る。ハダカになって、湯の中に何も考えないで浮かぶという状態。これが、こころ良いのだけれど、まてよ、この心地良さには、何だか憶えがある、と思う。そう、私が、まだ私として存在する以前の状態。母の胎内。

あ、そうか、と合点がいった。これは、つまり、胎内回帰遊びなのだ。元気になる訳だ。

とところで、ヨーロッパの世では、浴場は、れっきとした社交の場であった。そこでは男も女も、ハダカで、飲み、食べ、語り、音楽し水とのたわむれを楽しんだ。結婚披露宴を、そこで行ったという記録も在る。

そもそも、人と本音で語り合おうというとき、ネクタイやドレスの飾りが、どれ程邪魔しているか知れない。浴場が、最上の社交場であり得ることは簡単に理解できる。誰だろう。

お風呂では、耳の後ろや脚の下を、よくごしごしして、アカを落とすのだ、湯の中で一から二十までの数を間違えずに唱えるのだ、本来の意味から全くはずれた事を発明して、文化をゆがめてしまったのは。



また風呂
よせる波
かえす波

大好物。なにをどう使うかが、夫々の漁師の秘訣で、親といえども教えぬという人も居るくらいだ。気軽に教えてくれる人もいるが、尋ねづらいいものもあり、なかなかきびしい。

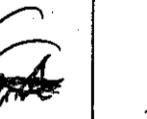
したがって、こうも言えるだろう。

魚を釣るには魚が先生。自分が工夫した道具を魚に聞いてみる。こたえは、食ってくれるか、否か!

海は一つというものの瀬戸内海では何が一番有効なのだろうか? (相浜住人・正人)

▼私たちは豊さを求めて日夜努力を積んでいます。未来は子どもが引き継いでいけるように、故郷に自分たちの力があれば、多くの子どもの希望を叶えていけるでしょうか? 親たちはどうでしょう? ▼是非弓削においでと胸を張れますか? 莫大な労力を注ぎながら、美しい弓削島に近づいていますか? ▼いかに過疎の歯止めを望んでも、この町の存在意義を見出せぬままでは、ハードルは越せません。▼豊かさとは勝ち取るもの。問題点を明らかに、が第一歩です。耐え忍び、は解決につながると思えます。▼弓削通信は、新スタイルを求めて休刊します。読者に深い尊敬と謝意を表します。(平山)

双眼鏡



今治 困ったもんだね。空きカンが大漁? 鳥生部落のよびかけで鳥生小学校六年生五〇人が名切川の清掃をした。投捨てられたカンの多さに瞳目!

伯方 チビツ子カッパたち待ち望んでいた町民プールが完成。七月一日、町内各小学校の児童らが参加して開場した。一般含め四〇〇人が参加。

岩城 七月一日日コモガクレ鼻海岸に幼児小、中学生交り約八〇人が集り福山大学猪子講師の指導で生物観察と採取を行った。今回は八月七日。

魚島 二十一世紀の魚島をつくる統一理念は瀬戸内海にきらめく豊かな楽園。具体計画に外部からも高齢者を受け入れる福祉の充実も含まれる。

大三島 昨年のサメ騒動で台海水浴場に延べ三百メートルの防護ネットが設置されたが新たに肥海、宗像海岸にも漁協、旅館組合等の協力で設置した。

瀬戸田 せとだ現代アートの造形コンクールが開かれる。縮切十月中高生。町外も可。問い合せ役場観光課。賞品多数有。

尾道 青少年センターではスキューバダイビングの入門教室を開く。八月十八・十九日午後七時〜九時。於尾道海技学校。参加費二千元。定員二十。